

四病院団体協議会・医療制度委員会委員長よりの意見具申抄録

平成13年 11月 27日

日本病院会副会長 奈良昌治

私は四病院団体協議会の医療制度委員会委員長をしております日本病院会副会長の奈良でございます。また私自身は栃木県足利市にある足利赤十字病院の病院長を11年勤めております。内科で専門は神経内科であります。医道審議会臨床研修検討部会にヒアリングに出席させていただき意見を申し述べる事が出来ますことを大変光栄に存じております。

本年5月17日に、厚生労働省伊藤雅治医政局長に第4次医療法改正に伴い平成16年度にスタートする臨床研修制度への要望書を提出致しました。同じ内容のものを、5月7日、日本医師会坪井会長宛てに提出しております。

内容は4点に集約されます。

① これからの臨床研修は、現在、大学病院を中心にした行われている研修から、厚生省臨床研修指定病院を中心にした第一線病院の病院群で行うようにして戴きたい。

私の足利赤十字病院も厚生省臨床研修指定病院であります。

足利赤十字病院は6大学医学部からの研修医を受け入れておりますが多少の差は御座いますが大学から派遣されている研修医のほとんどが専門医志向で、例を挙げますと、内科医であっても、自分の目指す専門分野以外には、消極的にしか興味を示さない欠点が目立ちます。当直勤務や救急センターに配属になっても安易に小児科のオンコールを呼ぶ傾向があります。理由は自分守備範囲を逸脱するまいとの安全主義であります。経験のないものは自信がない。危ないものは手を出さないとすることであると思えます。

大学によっては小児救急の教育研修がほとんどない大学もあると聞いております。しかし、将来、日本の医療を支える家庭医として育てるためには、小児科医療も第一線の現場で必須で経験させて戴きたい。各科の専門医は全ての通常疾患を経験した医師が、次のステップとして志すものであって、ごく普通の一般疾患を診療出来ない医師は、偽専門医と申しました。このような専門医ばかりでは医師を何名増産しても足りません。

② 研修医も生活がありますので司法修習生のように国費で面倒を見て戴きたい。徒にアルバイトに走らぬよう、安心して研修に励めるように月20万程度は支給して戴きたい。年額240万円とすると16000人の研修生の支出は380億程度に収まり、現在研修医の闇夜の機関銃の様な検査の無駄が省かれれば医療費も節約出来ると個人的意見ではありますが考えております。また指導医については研修病院、診療所に適当な額の補助金を支給して戴きたい。

③ 一時、2年間の研修が終わるまでは保険診療を認めないという話があったと聞いたことがあります。昔のインターン制度と異なり、今回の研修医は医師免許を所持しているためです。従って、所定の手続きを行えば保険診療を認めるべきであると思います。

なぜならば、全人的な医師を育てるためには都会の大病院ばかりではなく、地方の小病院、診療所、離島、僻地の診療も経験させる研修プログラムも必要であると思っております。これは都会の大病院への医師の偏在の傾向を改める助けになるのではないかと考えております。

地方の小病院、診療所に、本当の患者のための医療を行っている立派な医師がいることを知っております。今、若い医師に欠けているといわれる温かい人間的な医療を経験させることが、日本の医療にとって最も大切な改革であると思います。

具体的には研修期間2年の前半を厚生労働省に承認された臨床研修指定病院群で研修させ、後半を地方の小病院、診療所、離島、僻地で腕を磨かせることが必要と思います。

ところで、臨床研修指定病院の要件に未だに剖検率が問題にされておりますが、CT、MR、超音波、内視鏡などの進歩した現在、剖検率を問題にすることは時代の流れに取り残されることにならないかと危惧しております。栃木県の県北2次医療圏の中核病院、大田原赤十字病院は500床、医療機能評価機構も立派に合格し、3次救命救急センターを運営し、救急患者数は年間3万以上、小児救急8千の病院であり地域医療、病診連携も見事に行っておりますが、地方住民の意識でしょうか剖検率だけがどうしてもクリア出来ません。大田原赤十字病院は臨床研修病院としての資格は十二分にあると思います。

なお赤十字病院92中、臨床研修指定病院は38病院。3次救命救急センター24病院。医療機能評価機構認定合格病院13であります。医療機能評価機構認定であっても臨床研修指定病院でない病院も複数御座います。それらは剖検率を問題にされて合格いたしません。厚生労働省ご当局の英断で、剖検率の再検討をお願い致したいと思います。

私見では御座いますが臨床研修は医療機能評価機構認定、臨床研修指定病院、救命救急センターの3条件を満たした病院を「責任の核」にして臨床研修病院群を組織し研修させるべきと考えます。

④ 本日私ども4病協の意見を聞いて下さって有り難う御座いました。今後ともわれわれ地域医療の担当者から広い日本とくに市町村の医療の現状についてご諮問戴きたいと思っております。